

平成24年度復興祈念集会在3月11日、中学校体育館で行われました。
生徒を代表してあいさつをした生徒会長 根本千奈津さんの言葉をここに掲載します。



震災から2年

平成25年度前期生徒会 会長 根本 千奈津

3月11日の東日本大震災から、今日でちょうど2年が経ちました。この2年間は、私に大きな変化をもたらしました。

震災の日、私は小学6年生でした。原子力発電所の事故も重なり、私たち家族は千葉に避難しました。その後、いわき市に戻り、まったく知らない人しかいない中学校に通学することになりました。多くの皆さんも同じような状況だったのではないのでしょうか。そこでの生活は、分からないことばかりで、いつも大きな不安を抱えていました。今、こうして小さいころから一緒にいたみんなと生活できることを、とても嬉しく思います。そして、たくさんの方々に感謝しています。ここでの生活は、とても楽しく充実しています。このように、以前は当たり前感じていたことに感謝するようになったことが、私の大きな変化です。

しかし今でも、全国各地いたるところにみんなが散らばってしまっています。一日も早く、みんな

に帰ってきてほしいです。そして、広野の町に、前のような明るさや活気が戻ってくることを願っています。私は、この広野中学校からできることを精いっぱいしていきたいと思います。みんなで協力すれば、広野町の復興も一段と早く進むことでしょう。

これから、これまで復興に支援していただいた皆様への感謝を忘れず、私は日々を大切に過ごしていきたいです。そして、みんなでいつの日か恩返しができるよう、今は自分たちができることに、全力で取り組んでいきましょう。さらに、震災の記憶をこれからもずっと忘れることなく、私たちが経験したことを後世に伝えていきましょう。これらのことが、震災があったからこそ、私たちにできる、人として最も価値のある行動だと私は信じています。

平成25年3月11日

Hirono Town Public Information



編集・発行/広野町役場総務課企画グループ
☎(0240)27-2114

ホームページ <http://www.town.hirono.fukushima.jp>
Eメール kikaku@town.hirono.fukushima.jp

●広野町役場

福島県双葉郡広野町大字下北迫字苗代替35
☎0240-27-2111(代)